

各位

上場会社名 ユニオンツール
 代表者 代表取締役会長 片山 貴雄
 (コード番号 6278)
 問合せ先責任者 執行役員 管理本部長 倉田 憲昌
 (TEL 03-5493-1017)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,200	1,500	1,600	1,180	68.30
今回修正予想(B)	10,700	1,350	1,400	1,050	60.78
増減額(B-A)	△500	△150	△200	△130	
増減率(%)	△4.5	△10.0	△12.5	△11.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年12月期第2四半期)	10,945	1,537	1,516	1,205	69.77

2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	3,150	3,300	2,480	143.55
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2019年12月期)	22,877	3,074	2,963	2,383	137.98

修正の理由

新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、生産停止や稼働悪化などの影響が出始めています。終了した2020年12月期第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から3月31日まで)においては、当初、中国での生産停止と稼働悪化という限定的な影響でしたが、3月からは日本、欧米、東南アジアなど中国以外の地区での爆発的感染拡大があり、今に至っています。足元、パソコンや半導体パッケージに外出自粛関連の需要や中国での生産巻返しの動き、および次世代高速通信の整備に伴う新しい動きがあるものの、日本の自動車向けの最先端品需要の低迷や東南アジア・欧米向け需要の低迷を補いきれず、本年2月7日公表の2020年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想値を修正せざるをえない状況になりました。今回の修正は、第1四半期の実績および足元の最新の見込みを踏まえて算出し直したものであり、この公表値の達成に向けて邁進していく所存であります。

なお、通期予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大・収束、各国政府および地方公共団体の要請等により事業環境が大きく変わる可能性があり、現段階での合理的な業績予想の算定が困難なことから、2月7日付で公表した予想値を一旦取下げて「未定」とさせていただくことといたしました。業績予想が可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

以上